



クラブ
主題

未来創造 —35年の歩みに感謝 新たな一步を踏み出す—

会長 吉井 崇人

会長/吉井崇人
副会長/石倉 尚・幡南 進
書記/亀井久照
会計/志田育夫・森 繁樹

- 国際主題: I P Moon Sang-bong (韓国) "Yes, We Can Change!" 「私たちは変えられる」
 アジア太平洋主題: A P 田中博之 (東京多摩みなみ) "Action!" 「アクション!」
 西日本区主題: R D 遠藤通寛 (大阪泉北) 「未来に残すべきものを守り育てる」
 Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.
 京都部主題: D G 川上孝司 (京都バレス) 永遠の絆 Will The Circle be Unbroken
 ネット主題: RSD 遠藤通寛 (大阪泉北・兼任) 「未来に残すべきものを守り育てる」
 Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.



今月の聖句

イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。

イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った。
新約聖書マタイによる福音書 4章 18節～20節

解説

イエスの弟子で代表的な12使徒には6人の漁師出身者がいます。その中で最初にイエスの弟子になったのがペテロとその弟のアンデレです。二人は漁をしている時にイエスから声をかけられ、その場で網を捨ててイエスの弟子になりました。「人間をとる漁師にしよう」というイエスの言葉は、二人にとって人生の大転換となりました。ペテロは後にローマ宣教を行いネロの手によって殉教者としての生涯を終えることとなります。しかし初代ローマ教皇とされ伝道者として多くの人をキリスト教に導き、言葉通り人間をとる漁師になったのでした。



下降気味だと思ってみませんか？

会長 吉井 崇人

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年7月から会長としての期が始まり早いもので半年が過ぎました。

人生で一度しかできない京都キャピタルクラブの会長も半分が過ぎたかと思うと早いような、辛かったような、楽しかったような色々な感情が出てきます。

恥ずかしいことですが、初めて参加した事業も沢山ありましたが、全て「楽しかった」というのが実感です。

今期はクラブの一大イベントである35周年記念例会が250名近い方の参加で無事に終わりました。実行委員会をはじめとするメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

企画、準備等が遅れてしまい皆様への情報の共有が遅れたにもかかわらず、記念例会の一週間前の怒涛の追い込みのパワーはさすがキャピタルクラブといった動きで、本当に頼もしい方に囲まれていたという事を改めて実感致しました。

東京クラブと台北アルファークラブの皆様とお会いできて楽しい時間を過ごすことが出来、交流もより一層深まったのではないのでしょうか。

今期は、「未来創造」を主題として進めてまいりました。会長の立場から見たクラブは今までとは全然景色が違いました。

まずうれしい事に今期は2名の新入会員をお迎えすることが出来ました。しかし、クラブの中心人物でもありました山田英樹さんの突然の退会は本当に残念に思います。一日も早い復帰をお待ちしています。

今期のEMCの目標である7名の目標は是非、クラブ全体で

達成し次期へ繋げる活動を引き続きお願いいたします。仲間は多い方がいいし出会は、多い方がいい。

もう一つ感じたことは委員長への負担が大きいという事。これはある日の役員会で、皆さんの顔が疲れているのを見て考えさせられました。

メンバー数減少の中、委員長の仕事増と事業過多も重なり委員長の負担が大きくなっている委員会があるのに、クラブ全体で取り組んでいるのだろうかと考えさせられました。

「誰かがやる」と思っている人が増える事では、クラブに元気がなくなるでしょう。各委員長が疲れています。委員の皆様のお力添えをよろしく願います。

これは、私からの提案です。「クラブは、下降気味だ」・「クラブがピンチだ」と思ってみませんか？ 本気でクラブの事を考えて見ませんか？ 未来を創るために、クラブをより良くするためキャピタルスピリッツを次の世代にも伝えていく為に、一日数秒でも構いませんクラブの事を考えて頂きたいと思っております。

後半には、「未来創造」委員会や沢山の事業がございまして。「未来創造」委員会の座談会では声にしてください。そして、みんなキャピタルクラブを育てて行こうじゃありませんか！ 委員長をはじめとするメンバーの皆様どうぞよろしく願います。

今期の残り半年間、泣いても笑っても私にとってこれで最後の会長の時間です。楽しみながらクラブのために精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。

西日本区
強調月間

1月

I B C
D B C

交流はワイズの醍醐味です。お見合いボードも利用していただき、様々な出会い、交流を楽しみましょう。

中井信一 国際・交流事業主任 (奈良クラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブ内外の人達にもっと広報して、EMCやクラブ活性化に繋がしましょう。

加藤信一 広報・情報委員長 (京都トップスクラブ)



強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

今期初の入会式と下半期の活動に向けて

EMC 委員 山口 雅也



杉本慎治さん

吉井会長の点鐘を終え、ワイズソング斉唱でまず目に入ったのが新調されたクラブ旗でした。前回の例会をお休みしていたこともあり、このことがとても印象に残りました。

今回、今期初めての入会式が執り行われ、吉井会長ご紹介の伊吹純也さん、椿森 EMC 委員長ご紹介の黒木宏知さんの

2名が皆さんの握手のもと、めでたく入会されました。

「ラグビーから学んだリーダーシップ」という題目で杉本慎治様にご講演をいただきました。伏見工業高校から神戸製鋼で活躍され、日本代表として平尾選手や大八木選手とともに桜のジャージをつけてプレーされた経験から、平尾誠二選手から学んだ「おもしろいと思わなければ主体性は生まれない」ことや「人を奮い立たせるリーダーの言葉とタイミング」「創造的破壊」といった事柄を披露いただきました。後半は NPO 法人ロシナデスの川原尚行さんとの5つのミッションについてお話いただき、常にポジティブに活動され、グローバルな視点から見た大切なものごとについて考える機会をいただきました。

35周年記念例会というヤマ場を越えましたが、今年最後の通常例会にふさわしいゲスト、そして入会式と下半期の活動に期待が膨らむ例会でした。

入 会 式

EMC 委員長 椿 森 昌 史

入会者の伊吹純也さんと黒木宏知さん、11月30日にオリエンテーションを済ませ、この日を迎えた。

お二人とも少し緊張した面持ちで宣誓をし、晴れてメンバーになれた事で、少し肩の力が抜けたのではないだろうか。これからは、キャピタルクラブのメンバーとして、クラブライフを楽しんでもらいたいと思います。

私も EMC 事業委員長として初めての行事に、緊張感が最高潮であったが、この緊張感を2回、3回と重ねていきたいと思っておりますので、皆さまご協力をお願いいたします。

伊吹純也さん



入会までの例会におけるクラブの皆様の取り組みを見て、年齢や職業の垣根を超えた仲間という関係に非常に感銘を受けました。

私は京都で育ち、この京都で様々なご縁に助けられて現在まで過ごして参りました。今後は積極的にクラブの活動に参加させて頂き、この度のご縁も今後の生活の一部と言えるような大切なファクターとなればと願っております。よろしくお申し上げます。

黒木宏知さん



地元・京都の学校をはじめ、病院・福祉施設の改修工事を中心とした総合建設業のタカショウ建設(株)で働いております。

私は大手ゼネコン勤務を経て家業を継ぎました。同じものを二度とつくりたくない建築に携われることに情熱・愛情・思いをもって取り組んでおります。

また週末は、中学・高校野球の指導者を経て現在は少年野球チームの代表として、子供達の夢や目標が叶えられるように携わっております。

キャピタルクラブでも一所懸命頑張りたいと思っておりますので、何卒宜しくお願いいたします。

クリスマスファミリー例会

地域奉仕・環境委員 瀬 本 純 夫

今年最後の例会は、クリスマスファミリー例会です。

恒例のコメットさんたちによるキャンドルサービスにより開会いたしました。近年、参加していただくコメット、マゴメットが増えてきたなど実感する15名にもなっていました。厳かな中にも、楽しく始まりを迎えました。

『きよしこの夜』の斉唱、会長による開会宣言、点鐘、ワイズソング、会長挨拶と続き、ご家族で参加されているメンバーの紹介が行われました。

加藤総主事のクリスマスメッセージに耳を傾け、食前感謝に続いて、歓談の時間となりました。食事の途中に、照明が暗転してはいつてきた、吉井会長によるサンタプレゼントの時間です。コメットさんたちも大いに喜ばれているようでした。

その後、テーブル対抗のゲーム大会、司会者の軽妙な進行に、参加者全員が楽しんで、時間を忘れてしまうくらいでした。

最後、全員にプレゼントが当たる福引大会。全員にプレゼントが行きわたり、最後の大物は、一番ふさわしメンバーに当り、めでたしめでたしでした。

今年も、多くのメンバー、メネット、コメット参加で、楽しく一年を締めくくることが出来ました。会長をはじめ、準備をしていただいた PT メンバーに感謝です。年明けからも皆で楽しんでまいりましょう。

わんぱくチャレンジクラブ

地域奉仕・環境委員 金 原 弘 明

12月9日(日)、京都 YMCA 三条本館にて毎年恒例の YMCA の発達しょう害児サポートプログラム「わんぱくチャレンジクラブ」の活動支援とお手伝いが行われました。

今回のプログラムは子ども達がお店を開いて運営することで、働くことの対価としてお給料を頂くという社会の仕組みと、接客やサービスを身をもって体験し学ぶことを目的としたものでした。我々メンバーは子ども達の昼食としておにぎり、豚汁、たこせん(たこ焼きは山田隆之さん家直伝)を作るチームと、吉井会長を社長とし、各々のお店の店長として子ども達と一緒にお店の運営をするチームとに別れて、各々奮闘しました。

私はスリッパ投げ店の店長として、子ども達のお店運営のお手伝いをさせていただきました。お店の開店準備では、なかなか準備が進まなかったりもしましたが、午後からお客さんとして保護者の皆様が来店するようになってからは、自分のお父さん・お母さんの顔を見つけたり、何よりお客さんが楽しそうにスリッパ投げ(蹴り)をしたり、くじを引いたりして、「楽しかった、ありがとう」と声をかけられることで、子ども達の顔にどんだん笑顔が溢れるようになり、どんだん元気に、積極的にお店運営を行うようになっていったことが大変印象的でした。子ども達のお店は他に、ミルクせんべい店、カン釣り店がありましたが、どの店の子ども達も一生懸命にお店の運営を頑張っていました。

閉店後、子ども達にはお給料(本物の現金)とクラブからのプレゼントが渡され、みんなうれしそうに満足げな顔で受け取っていました。毎回、この瞬間で1日の苦勞が報われる気がします。

参加者 五十嵐、石倉・メネット・コメット、石村、金原、亀井、左近、菅原、田中(升)、椿森、幡南、宮崎、森(繁)、山田(隆)・メネット、吉井

今、思う事 — 今だから思える事・今から行く道 —

もうええかな？

石村吉宏

平日の朝、土砂降りの雨を見たり、高温の注意報を聞いたりした時、仕事に行くのが辛く思えます。

しかし、「なにこそ」と思いながら職場に向かいました。そう思いながら四十数年間働き続けてきて、今年やっと定年退職を迎えました。

あれがしたい、これがしたいと思いながら我慢をしてきた事が出来る様になります。ずっと一緒に遊ぼうと言っていた相棒は居なくなりましたが、楽しく過ごせたらと思っています。これからは鏡を見て驚く、円形脱毛症になることもないでしょう。

今は、身も心も軽くなって超長期休暇に入って、父が残してくれた畑を晴れの日は耕し、雨の日はビールを飲んでいきます。

仕事と家族

仁科保雄

家族と仕事ができることの楽しさを今満喫しています。孫と一緒に仕事をしていることに大きな喜びを感じている自分を発見しています。

私は歳のせいか、夜は目が悪くなり残業が出来なくなり、悔しさを覚えるようになっていきます。昔は何時まで残業をしても疲れを感じず仕事に打ち込みましたが、今は駄目になりました。

しかし、孫は夜の12時になるまで頑張っています。それを毎日見ているだけでも頼もしくながめている自分がいます。息子と孫が一緒になって働く姿はわたしにとって頼もしい限りで、家族で頑張れる仕事があることを最高の幸せと感じている今です。

未来は明るい!?

西村融正

ITが仕事や日常に入り込んで久しいですが、最近では、IoT、ICT、AI、ビッグデータ、第4次産業革命、ベーシックインカム等々の言葉もよく耳にします。

今後日常生活は更に便利に快適になり、仕事の仕方も更に変わると思われまます。通勤や通学なんてしなくてもよくなるかもしれません。車はまさに自動車になります。酔っても勝手に家に連れて帰ってくれます。家事も全てロボットがしてくれます。自分の仕事がAIに奪われるという方もいらっしゃると思いますが、もしかしたらAIが仕事から解放してくれるかもしれません。

そんな想像をした時に、ワクワクするのか、不安になるのかは自分の気持ちの持ちようかも。頑張って順応していこうと思います。

新分野に挑戦

長谷川幸昌

私にとっての2018年は大きな変化の年になりました。

14年間営んできた店を閉め小売事業を大幅に縮小し、その代わりコースやイベントのプロデュースに移しました。今風に言えばモノ消費からコト消費への転換です。

学生時代は材料、サラリーマンの時は機械、そして趣味のマウンテンバイクやスノーボードの体験を活かして乗る人のための機材を提案できるMTB(自転車)屋としてスタートしたわけですが、突き詰めて考えると日本のMTB界で足りないものはソフト面。そこでソフトを提供する側になろうと踏み切ったわけですが。自転車屋時代の経験や人脈に加え、祖父母から教わった農林業の知識、さらにはキャピタルクラブで学んだ様々な取組み方。これまで以上に今までの経験をフル活用して新しい分野に挑戦しています。

1月号から東京クラブと京都キャピタルクラブの情報交換をすることになりました。



東京だより

江戸城ファミリーウォーク報告

日時：2018年11月23日(金・祝)10:00~16:00

会場：千代田区日比谷図書文化館4階小ホール

東京クラブCS・ウエルネス委員長 小島康良

今年の江戸城ファミリーウォークは、朝から快晴、絶好の行楽日和となった。10時30分開会、長沢弘会長が挨拶とYMCAとワイズメンズクラブの説明を行い、歴史街道&地形たんけん隊小島康良主幹の「家康の江戸入府から70年かかった大江戸の形成と外堀のウォークご案内」と千代田区地域振興部文化振興課文化財係相場峻氏の「日比谷公園の成り立ち・その他」と題した講演を頂いた。

小島氏の講演：家康入府前後の江戸前島と日比谷の入江状況から始まり、天正18年(1590)日比谷の埋め立てに始まる城下町の建設。日本橋川以北の町割りにより作られた最初の城下町・本町にどのように物資を集めるかを考え、日本橋川、道三堀、小名木川など掘割と運河を整備し、神田川を掘削し流れを変え、石神井川の水害対策を行い、2本の堀留川を残し、江戸初期の湊としたこと。その後も第5次天下普請を経て1660年の神田川の完成で大江戸の範囲が定まった。江戸の町をつくるのに、ちょうど70年かかったことになる。

相場氏の講演：家康の入府までの日比谷公園一帯は漁村で、海が入り込む日比谷入江であった。入江は神田山を切り崩した土で埋め立てられ、鍋島や毛利などの大名屋敷が立ち並んだ。維新後は皇城防衛の為に陸軍練兵場になった。やがて外務卿井上馨の欧化政策の一環として近くに鹿鳴館

が完成する。官庁街の建設案もあったが地盤軟弱のため本多静六氏によって日比谷公園の誕生となった。これは日本初の洋式公園である。

講演会終了後、5グループに分かれ12時スタート、はじめは日比谷御門跡。石垣を背景に秋色に染まった庭園を愛でながらの昼食。桜田通り、法務省・農水省等を経て虎の御門へ。都心になぜ金刀比羅宮が？ 讃岐丸亀藩主京極氏が地元氏の氏神「金刀比羅宮」を江戸屋敷に勧請した名残りなのだ。文部科学省周辺に残る石垣群、とても勉強になる。必見。溜池跡は低地だった。当然、玉川上水の完成までは江戸の大切な飲料水だったのだ。溜池跡を進むと右手にエスカレーターの上る山王鳥居が現れる。昔はなかったのに今では表参道か？ 便利になったものだ。本殿前は七五三参り、結婚式で賑わっている。さすが江戸三大祭りの山王日枝神社だ。明治中期に出来た学習院女学部跡、今は参議院議長公邸となっている。

15時過ぎに憲政記念館テラスに到着。恒例のグループ対抗のクイズの正解発表に沸きながら賞品授与が行われた。閉会式では、千代田区生涯学習事業と東京YMCA国際協力募金への献金、長沢弘会長による閉会挨拶が行われ16時に終了となった。



小島さんの講演

参加者

メン 江口、加藤、郡山、小島、佐藤、進藤、長澤(弘)、比奈地、細川、松本(数)、持田、吉岡(12名)
メネット 菅谷、細川 ビジター 城井(東京むかで)
千代田区 相場、中里 東京YMCA 荒木 ゲスト51名 合計69名

クリスマスロビーコンサート

副会長 石倉 尚

12月12日(水)18時 三条 YMCA に集合!! と宮崎 Y サ事業委員長から連絡があり、また、あのズッシリとしたオルガンを地下から運ぶのか……と思いきや、椅子を運んで並べるだけのこと。腰を痛めるといけないので一脚つつ丁寧に運んだのですが、20分ほど完了しました。並び終えた椅子にプール帰りのお子さんとおかあさんが開演を楽しみに待たれている姿がとも印象的でした。

本日初日のロビーコンサートは、Dusk to Dawn の皆さんによる「ザ・クリスマスソング」～なつかしのポップス～。頭に角を付けた ZERO クラブ会長の佐古田さんと男性2名+女性1名でのパフォーマンスです。ビートルズ、イーグルスなど懐かしのナンバーと軽妙なトークで会場は終始なごやかな空気につつまれ、最後にみんなで「きよしこの夜」を歌い無事初日を終わられたようです。

昨年は、改修工事で開催されなかったのですが、年の瀬の締めくくりとしてとても良いイベントだと思います。みんなが幸せになりますように! Merry Christmas!
参加者 宮崎 Y サ事業委員長、五十嵐、石倉、亀井、田中(雅)、森(繁)、八木、吉井

EMC 親睦忘年会

会計 森 繁 樹

12月26日(水)、19時より四条先斗町の東華菜館で、EMC 親睦忘年会が、開催されました。

吉井会長の前期の労いの挨拶から始まり、西川次期会長のサクとした乾杯でスタートしました。

新入会員の伊吹さん、黒木さんも参加されていました。既存のメンバーとも会話が弾んでいたようで、既に会話に溶け込んでおられました。

また、ゲストで田中升啓さん紹介の斎藤さん、石倉さん紹介の藤野さんも来ていました。私のテーブルでは、台北へIBC 締結の時の話しや前期の事業の振り返り、亀井書記の愚痴が多いに盛り上がっていました。一年間たいへんお世話になりました。皆様、良いお年をお迎え下さい。

参加者 五十嵐、伊吹、石倉、石村、金原、亀井、香山、黒木、菅原、大門、田中(雅)、田中(升)、椿森、西川、幡南、宮崎、森繁、八木、山口、山田、吉井
ゲスト 藤野さん、斎藤さん

第6回 役員会議事録

2018年12月25日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉 第2回 EMC フォーラム開催 2月4日 19時~21時/使用済切手の案内/メネット活動のアナウンス・報告依頼

〈YMCA 報告〉 京都 YMCA 学園債の件/第6回 The Ycup 3月16日、17日 協賛依頼 1口5,000円 後日 Y サより案内

〈三役会報告〉 台北アルファクラブからメッセージカードを受領/会員移動報告を西日本区へ提出(退会1名、入会2名)/黒木さんがプリテン委員会、伊吹さんがファンド委員会へ配属

〈各事業委員会報告〉

- **YMCA サービス・ユース事業委員会** 開催済事業報告 わんぱくチャレンジクラブ 開催日: 2月9日(日) 場所: 京都 YMCA 三条本館 事業内容: YMCA リーダーが主催し、子供たちがお店を開き社会生活を体験する企画に協力。キャピタルは、食事提供とお店のスタッフとしての参加協力を行った。参加者: 吉井会長・五十嵐・石倉・石倉博子メネット・京コメット・石村・菅原・金原・亀井・左近田中(升)・幡南・椿森・森(繁)・山田(隆)・山田まゆみメネット・宮崎 計17名/クリスマスロビーコンサート 開催日: 12月12日(水) 開催場所: 京都 YMCA 1階ロビー 事業内容: 会場設営と撤収 参加者 吉井会長・五十嵐・石倉・亀井・田中(雅)・森(繁)・八木・宮崎 計8名

- **地域奉仕・環境事業委員会** 献金募金報告 RBM・FF 献金: 32名 32,000円(目標各800×33名=26,400円)/東日本大震災支援募金: 17,734円/熊本地震支援募金: 18,075円 上記、クラブ会計より区へ送金済 今後の事業を検討/TOF 例会 2月5日(火)2月第一例会/京都部チャリティーボウリング 2月24日(日)/リトセン・メタセコイヤフェスティバル 5月26日(日) 西日本区のCS資金援助申請を行う

- **ドライバー事業委員会** 開催済の例会を報告/新年例会と下半期の例会内容を検討

- **交流事業委員会** 下半期の英会話レッスン開催日程 1月26日(土)、2月23日(土)、3月23日(土)、4月27日(土)

- **ファンド事業委員会** ファンド収益の報告及び、今後の事業を検討/新メンバーの伊吹さんがファンド委員会に配属された
- **広報・プリテン事業委員会** 1月号、2月号の骨子を検討/新メンバーの黒木さんがプリテン委員会に配属された

- **EMC 事業委員会** 4月に EMC バーベキューを開催予定

〈半年報告〉 各委員会の報告書と決算書を確認。半年総会前に役員会の承認を得る事

〈35周年実行委員会〉 支払い状況等を報告、次回決算書提出

〈審議事項〉 次々期会長選考の結果、五十嵐さんに決定する件 承認

〈その他〉 第7回三役会 1月18日(金)19:00~ 於:未定
第7回役員会 1月22日(火)19:00~

於:ウェスティン都ホテル京都

HAPPY BIRTHDAY

メ	ン	五十嵐由紀	1月11日	倉見直樹	1月22日
		西川欽一	1月23日	仁科保雄	1月31日
メ	ネ	正子・ダルマパーラン	1月6日		
		金原康代	1月9日	左近佳津	1月9日
		八木未穂	1月9日		
コ	メ	山口遼子	1月5日		

編集後記 あけましておめでとうございます。なれないプリテン作成の作業でバタバタしながら1月号をみなさまにお届けできほっとしております。2019年も楽しんで読んで頂けるプリテン作成を頑張っていきますので、ご協力よろしく願っています。
広報・プリテン委員長代行 吉井 崇人



12月号5頁「2つのクラブ旗 35年ぶりに新調」の記事で、菅原さんのお名前が抜けていました。併せて新調の経緯がありませんでした。申し訳ありませんでした。

クラブ旗新調の経緯

9月の例会時に古いメンバーが一つのテーブルに座ったとき、35周年を記念して我々でクラブ旗を新調し、寄贈する話が出ました。その理由として、次の3点が指摘されました。

1. 従前のクラブ旗はクラブ設立の際、親クラブのバレスクラブから寄贈されたもので、キャピタルクラブのロゴが少し違っている。
2. 旗自体の風化でかなり傷んできている。
3. ワイズメンズクラブのマークが変わった。

以下の7名で寄贈
石村吉宏・内廣 健・大山孜郎・岡本尚男・菅原椋一・仁科保雄・森 常夫

12月報告



例会出席

在籍者数 33名
広義会員 1名
第一例会 29名
メイクアップ 3名
第二例会 29名
出席率 97%



BFポイント

現金 0円
使用済切手 0円
累計 0円
E F 0円
J W F 0円
EF・JWF累計 0円



ニコニコ

第一例会 7,000円
第二例会 0円
お釣りニコニコ 4,630円
合計 11,600円
累計 113,120円



ファンド

お釣りファンド 4,630円
11月第二例会後会・その他 4,000円
合同委員会 15,400円
にしん蕎麦 48,844円
クリスマス飲み物 72,874円
合計 834,156円



献血

献血 0cc
成分計 1名
累計 0cc
成分累計 5名



130周年募金

第一例会 1,900円
第二例会 0円
合計 1,900円
累計 17,939円

東日本大震災復興・支援募金

第一例会 2,200円
第二例会 0円
合計 2,200円
累計 17,264円

豪雨災害募金

第一例会 0円
第二例会 0円
合計 0円
累計 17,864円

出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・使用済切手収集